

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公開番号】特開2016-28819(P2016-28819A)
 【公開日】平成28年3月3日 (2016.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報2016-013
 【出願番号】特願2015-232754(P2015-232754)
 【国際特許分類】

B 0 6 B 1/04 (2006.01)

H 0 2 K 33/12 (2006.01)

【 F I 】

B 0 6 B 1/04 S

H 0 2 K 33/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月2日 (2016.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マグネットと錘体を備える可動子と、
 前記可動子を収容する外枠体と、
 前記可動子を一軸方向に沿って往復振動させる駆動力を前記マグネットに付与するコイルと、

前記可動子の前記一軸方向の振動を弾性支持する弾性部材とを備え、
前記可動子は、前記マグネットと前記錘体に固定される補強板を有することを特徴とする振動アクチュエータ。

【請求項 2】

前記マグネットは断面矩形状であって、該矩形状を構成する長辺部分が前記コイルと対面すると共に短辺部分には前記補強板が固定されることを特徴とする請求項 1 記載の振動アクチュエータ。

【請求項 3】

前記錘体は、前記マグネットの前記一軸方向の両端部に設けられる第 1 及び第 2 の錘体を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の振動アクチュエータ。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の振動アクチュエータを備える携帯型電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明による振動アクチュエータは、明細書に記載された幾つかの発明のうち以下の構成を具備するものである。

マグネットと錘体を備える可動子と、可動子を収容する外枠体と、可動子を一軸方向に沿って往復振動させる駆動力をマグネットに付与するコイルと、可動子の一軸方向の振動を弾性支持する弾性部材とを備え、可動子は、マグネットと錘体に固定される補強板を有することを特徴とする振動アクチュエータ。